



2020年7月27日

日本鉄道労働組合連合会

J R 西日本連合第 29 回定期大会

全組合員の団結でJR西日本グループの存続を

J R 西日本グループ労働組合連合会（J R 西日本連合）は7月21日、大阪市内で第29回定期大会を開催した。

大会は、「新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン」を遵守し、出席者も幹事会と代議員に限定。適切な感染防止策を徹底した上で開催され、新年度の活動方針を満場一致で決定した。



上村良成議長（J R 連合副会長・J R 西労組中央執行委員長）は挨拶の冒頭、「新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、組合員と家族、利用者の安全と健康を守り、グループ全体での雇用を守る。そして、全組合員が団結してJ R 西日本グループを存続させる」との決意を述べた上で、本大会で付託された重要課題として、①コミュニケーションを通じた職場からの安全の確立、②新型コロナウイルス感染症への対応、③働き方改革と2021春季生活闘争への対応、④労働組合の意義、⑤J R 西日本グループの利用促進による支え合いの5点について提起し、それぞれに対する見解を述べた。

議事では、幹事会が提起した議案に対して11人の代議員から、新型コロナウイルス感染症への対応と課題、J R 西日本グループの利用促進、J R 西日本への要望等の発言があった。

また、大会には長谷川一明J R 西日本代表取締役社長が駆けつけ、会社施策に対するJ R 西日本連合の理解と協力に謝辞を述べるとともに、出席者に対して「J R 西日本グループに結集するすべての労使が力を合わせてこの難局を乗り越えよう」と呼びかけた。